

お客様各位

NO97 2枚 平成20年7月31日

あとから気がつく「深慮遠謀」

2008.7月号

From せたっくす

オールスターでおどける、ひちょり。

税理士法人 SETACS 林卓也

TEL 03-3252-4558 FAX 03-3252-4508

メール takuto@wave.plala.or.jp

ホームページ <http://www.diichikeiei-t21>



1. 景気はどうなるのか。

c

2. 女性税理士たちの事件簿

先日、女性税理士が数人で食事をしたそうです。メニューは食事が3,900円のコースで飲み物は別料金だったそうです。宴は和やかに終了し会計の時にその事件は起きました。会の中心人物でもある穏やかで人格優れた歳のほど70歳前後と思われるA先生は言いました。「皆さんの支払は3,000円でいいですよ、残りのお金は私が払うから」、A先生は豪気にも一人当たり900円と飲み物代を支払う宣言を高らかにしたのです。A先生は以前お話ししたときに、いつも腰にお付けになっているウエストポーチに常に4~5cmの1万円札が入っていて、私が「先生、危ないですよ襲われますよ」と言うと、「あら、襲う時はお金だけじゃだめよ、ちゃんと体も奪ってよ」と言われる豪の方です。

そのA先生に対してB先生は言った、「私はお酒は飲まなかった所以他の方と同じ値段では嫌です」、その場の空気は凍りつき、「えっ」とシーンとなった皆さんの前でA先生は再び高らかに宣言したのです、「じゃあ、あなただけ料理代の3900円払ってね」、心の中で拍手喝さいをする皆さん方の前で、B先生は渋々と3000円を支払ったのでした、、、事件簿完了。

3. 日本人もびっくり

先日、カレー屋さんの社長のインドの方とお話をして、「インド人は数学に強くて、勉強熱心なんですよ」と私が言うと、「そんなことはないですよ、数学に強い人は少しだけ、勉強もできる人だけがするよ、日本人もそうでしょ」と言われて、何故かすごくほっとしました。

また、すべてのインド人はガンジス河で歯を磨き、顔を洗い、死体も流したりするこんですよ、という先入観（実は先入観だった）の元、話を聞いてみると、

私「社長もガンジス河で体を洗ったりするんですよ」

社長「んー、川の水は汚れているから入ると病気になるかもしれないよ」

私「あーそういう思いで入る人もいますね」

社長「僕は無理かなあ、入るの、いやよね」

私「えっ、国民の皆さんは1年に1回は、入るんじゃないんですか」

社長「入るのきついよ、入れないよ」

そうだったんだ、皆入るんじゃないなかったんだ、インド人も、いや、日本人もビックリの事実でした。

4.行ってみよう・・・対決・・・国立博物館

上野公園口から左に東京公会堂、右に西洋国立美術館を見ながら歩くと、右に噴水が見えてきます。その噴水沿いに歩いて、行き止まりに東京国立博物館があります。

今、その特別展覧会で興味深い「対決」が行なわれています。

運慶vs快慶、歌麿vs写楽、応挙vs芦雪などの12の対決が観られるのですが、その中でも特に面白いのが若冲vs蕭白(しょうはく)です。アメリカの収集家プライスは大学卒業記念に父親から「車でも買えや」と今のお金で1千万円位を貰い、ディーラーに行くまでの道沿いの店で若冲の絵を観て、とりこになりそれ以来、若冲を集め続けたので、多くの若冲はプライスコレクションにあります。色の斬新さ、タッチの繊細さが受けたのかどうかはわかりませんが、アメリカ人に人気があります。蕭白はおどろおどろしいタッチで描く妖怪や仙人がユニークで、こちらは日本人の遊び心に深く触れてくるもので、殺伐として来た現代社会に厭きた人の心に一涼の風を吹かせることでしょう。

5.ビールの話

恵比寿ビールのラベルには、左腕に鯛を抱えた恵比寿様が胡坐をかいていますが、数百本のビールに1本だけは鯛が2匹います。と言っても、もう一匹は右手の後ろに抱えた魚籠の中から尻尾の方だけが飛び出ています。この2匹の鯛がいるビールは、見つけた人に福が訪れる「ラッキー・ビール」と正式名が付いておりますので、福をもたらしたい方は、ぜひ見つけてみてください。但し、缶ビールではなく、びんビールのみにはしかないようです。

麒麟ビールのラベルの、「きりん」は首の長いキリンではなく想像上の神秘的な動物である「麒麟」が描かれています。「麒」はオスで、「麟」はメスで、聖人が世に出て、王道が行われる時に生まれ出たと中国で伝えられているものです。

「キリン伝来考」という本によると、1414年にベンガル王サイフディンの派遣した使節が中国を訪問した際、貢物として「キリン」を持ってきたのですが、永楽帝にゴマを擣るために、聖人が世に出たときのみ現れる「麒麟」の名を「キリン」に付けて貢いだので、この首の長い動物の名は「キリン」になったと書いてあります。その前の名前はどうかは興味が出てくるのですが、英語で「ジラフ」オランダ語で「カメール」とありますから、きっとどちらかで呼ばれていたのでしょう。

これからやってくる夏は酷暑が予想されますので、ビールで癒されましょう。ちなみに私の大好きな「喉をカラカラにして」ビールを飲む手法は食道に負担がかかるということなのでご同輩はご注意ください。